

国語科 中学校3年

単元名 読書生活を充実させよう
「卒業ホームラン」

本時の流れ（第1時）

本時の目標

○本単元での課題を把握し、学習に見通しを持つ。

・本時の目標と、課題について理解する。

○最後に土手に立っていた人物はだれかを考えながら全文を黙読する。

○最後に典子が登場することについて、意見を交流する。

- ・典子の登場を納得できたか発問する。
- ・納得できる／できないの理由を考え、ペアで交流する。
- ・ペアで話し合った結果を発表する。

○最終的に「最後に典子が登場することについて、本文の叙述を根拠に批評文を書く」ことを予告する。

・説得力のある意見を作るためには、登場人物の心情の変化を読み取る必要があることを理解する。

・本時の振り返りを行い、自己評価表にまとめを記入する。

【指導のポイント】

- ・この小説は、一読すればおおよその内容はつかむことができると考え、あえて、精読する過程を授業の中心にはしなかった。
- ・黙読においては、課題を先に提示し、目的をもって本文を読むことができるように考えた。
- ・典子の登場に関する意見交流は、あくまで最終次に行く「批評文」への興味・関心を高めるためのものである。そこで、質問を二者択一にし、取り組みやすさに配慮した。
- ・ペアによる話し合いも、感情論になったり、うまくかみ合わなかったりすることを想定している。このことが、意見を述べる際には、本文の記述に基づいていないと説得力がなく、議論も深まらないことを体感させる仕掛けになっている。したがって、正解などにこだわらないように指導する。
- ・内容理解のための内容理解にならないようにするには、読解に目的を持たせることが大切である。その際の課題設定には、焦点化と適度な難度が必要である。簡単な課題では読解への意欲を維持しきれない。

「活用」の力を育てる評価の視点

- ・批評文のような意見を論理的に述べる文章を書く場合、書きたいという意欲を喚起することと、説得力のある文章を書く方法を示すことが肝要である。

評価問題

単元の流れへ

HOME